

三原市本郷人権文化センターだより

発行／三原市人権推進課
編集／三原市本郷人権文化センター
所在地／三原市本郷北3丁目16番10号
電話／0848-86-3333
FAX／0848-86-3407

令和8年(2026)年度 センター主催教室の受講生を募集します

耐震改修工事のため、工事完了まで教室の開催場所が次の施設となります。（各教室若干名）

◎開催場所：船木ふれあいセンター（本郷町船木3115番地） 旧船木保育所

きょうしつめい 教室名	かいさいづき 開催月・曜日・時間	こうし 講師	ないよう 内容
ピラティス	だい きんようび 第2金曜日 13:30～15:00	みねはら くみ 峰原 久美さん	ぜんしん きんにく 全身の筋肉をバランスよく鍛え、姿勢や じゅうなんせい 柔軟性などを向 上させるプログラムです。
しきじ 識字B	まいしゅうすいようび 毎 週 水 曜 日 12:30～16:30	たがわ よしみ 田川 好美さん	しんぶん きじ だいざい よ はな 新聞記事を題材に、読んで話 すことの基礎を学 び、かんたん けいさん かんじ よ か おこな 簡単な計算や漢字の読み書きも 行 います。
パソコンA	毎週火曜日 10:00～12:00	しよくいん センター 職 員	しょしんしや たいしやう きやうしつ 初心者を対象とした教室です。Word、Excell つか かんたん にゅうりよく おこな を使って簡単な入 力を行 います。 ※パソコンをご持参ください
パソコンB	毎週火曜日 13:30～15:30		
パソコンC	毎週木曜日 10:00～12:00		
パソコンD	毎週木曜日 13:30～15:30		
いけばな かんえんりゅう 生花(閑漣流)については、ていいん たつ 定員に達しているため、げんざいぼしゅう ていし 現在募集を停止しています。			

◎開催場所：本郷生涯学習センター（本郷南6丁目25番1号）

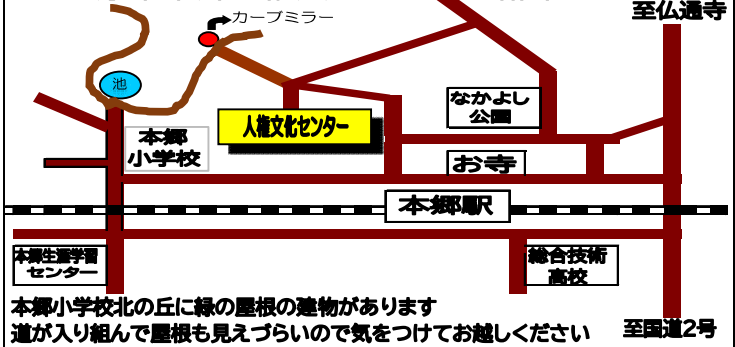
教室名	開催月・曜日・時間	講師	内容
郷土料理B	第2水曜日 10:00～13:00 5～1月までの奇数月(5回)	大橋 典子さん	健康づくりをメインに、郷土料理や旬の食材について、クイズを用いて楽しく学び、調理実習をおこないます。
ヘルスアップクッキング (旧男性料理)	第4水曜日 10:00～13:00 4～12月までの偶数月(5回)		
識字A	毎週火曜日 12:00～16:00	高井 二千六さん	新聞記事を題材に、読んで話すことの基礎を学び、簡単な計算や漢字の読み書きも行います。
郷土料理Aについては、定員に達しているため、現在募集を停止しています。			

人権相談

人権侵害や差別などでお悩みの方は、人権相談員にご相談ください。
相談は無料で秘密は守られます。
気軽に相談してください。

- とき 土・日・祝日は除く 10時～16時
- ところ 三原市本郷人権文化センター
- 電話 0848-86-3333

三原市本郷人権文化センター略図



本郷小学校北の丘に緑の屋根の建物があります
道が入り組んで屋根も見えづらいので気をつけてお越しください 至国道2号

人権のひろば

2月から2回にわたって「人権擁護委員」について紹介します。

【第2回】

市ホームページ2次元コード



人権擁護委員



人権の花運動

【人権擁護委員ってどんな活動をしているの？】

人権擁護委員は、様々な啓発活動を行っています。そのひとつの啓発活動に、人権の花運動があります。これは、市内小学校の児童を対象に実施しており、児童が協力し花を育てることを通じて、命の大切さや相手への思いやりという人権の基本を身につけてもらうことを目的として実施

しています。

今年度実施した人権の花運動の様子 ▶



また、人権擁護委員による人権相談は毎月を行っており、令和8年度の予定は次のとおりです。

【場所:サンシープラザ 4階 時間13時~16時】

4月9日(木)	5月7日(木)	6月11日(木)	7月9日(木)	8月13日(木)	9月10日(木)
10月1日は一日総合 相談室にて開設	11月12日(木)	12月10日(木)	2027年 1月7日(木)	2027年 2月18日(木)	2027年 3月11日(木)

※6月1日は人権擁護委員の日、12月4日~10日は人権週間のため、6月、12月は、本郷・久井・大和でも人権相談を開設する予定です。詳しくは、毎月の「広報みはら」などをご確認ください。

★きょうは何の日？ 3月 人権カレンダー

国際人種差別撤廃デー(21日)

1960年(昭和35年)のこの日、南アフリカのシャープビルで、人種隔離政策(アパルトヘイト)に反対する平和的デモ行進に対し警官隊が発砲し、69人が死亡する「シャープビル虐殺事件」が発生しました。この事件が、国連が人種差別に取り組む契機となったことから、人種差別撤廃のための記念日とされました。この日には、世界中で人種差別の撤廃を求める運動が展開されています。